

1. 大会開催に当たっての準備・対応

(1) 来場者の受付方法

- ・役員受付は、正面玄関に設置する。
- ・TICは正面玄関前に設置する。
- ・受付の詳細については以下の通りとする。

①【出場校受付（TIC）】

選手（チーム全員分）：JAAF健康管理チェックシート兼大会参加承諾書

引率者：引率者チェック表（一覧表）を提出

出場校：ゼッケン・襷・補欠分AD・引率者AD・プログラム購入分を受け取る。

※スタート位置は申し込み時に抽選を行う。配布するものについては、事前に袋に詰めておき、当日は、速やかに受付が進むようにする。

②【学校関係者受付（TIC脇）】

管理職やその他学校関係者の方は、TICにて検温し、記名してADを受け取る。

※提出書類はありません。

③【役員受付（正面玄関）】

役員：当日の検温と体調を申告（名簿に記載） ※提出書類はありません。

(2) 大会関係者及び観客の入場制限・管理

- ・大会会場（競技場内）サイドスタンド及びバックスタンドには、選手（登録メンバー）及び引率者（各校3名）、競技役員以外は入れない。（保護者・応援生徒・付き添いの入場禁止）
- ・保護者の競技場内の観戦は、入場口を制限し、メインスタンド上段のみとする。

(3) チーム陣地、待機スペースについて

- ・選手待機は、サイドスタンド・バックスタンドを使用する。競技場外の場所には設置しない。
- ・チーム陣地を設置する際、他校との距離が2m以上空くようにする。
- ・食事をとる場合には、引率者の責任で黙食を徹底する。

(4) ゴミの廃棄

- ・ゴミについては、必ず各自で持ち帰る。大会運営関係のゴミ以外は回収しない。

(5) 大会開催後の対応

- ・大会終了後2週間以内に感染が確認された場合には、当該校より大会事務局に報告する。
- ・回収した体調管理チェックシート及び承諾書等の個人情報は、感染が確認された場合のみ使用する。それ以外については、大会終了後1か月後に大会事務局が破棄する。

(6) 競技運営上の対応

①W-upについて

- ・ウォーミングアップは、コースを使用する。なるべく一般の利用者と接触がないように配慮する。（近くを通る際は、2m以上距離をとるなどの対応する）

②招集について

- ・メインスタンド（100m ゴール付近上）を招集場所とする。
- ・その際、荷物を詰める用のビニール袋に入れさせ、荷物の自己管理を徹底させる。

【選手の動き】

①招集完了後、役員の指示で、最終荷物置き場に移動する。

②荷物を置いた後は、最終 W-up エリアに移動。

③先頭がラスト 1 k m 通過の通告を受けたのちに、マスクを外して（自分の荷物袋に入れる。）最終待機場所へ移動する。

④中継所整理員の呼び出し（ラスト 3 0 0 m）+目視で、自分のチームの選手が来た時点で中継線に入る。

⑤競技終了後（中継後）手洗い場で手洗いを行う。

⑥手洗い、洗顔後、荷物置き場に戻り、速やかに自分のチームの陣地に戻る。

③中継所について

- ・中継所はホームストレート中央付近とする。
- ・荷物置き場を学校ごとに設置し、マスク等を含めて、荷物が他のものと混ざることを防ぐ。
- ・招集から最終待機場所に入るまでは、選手間の距離が近くなることもあり得るので、マスクを着用させる。
- ・最終待機場所については、マスクを外しているのので、話をさせずに待機する。
- ・中継所役員は、呼び出し+中継時の安全確認+中継後の誘導を行う。中継線内には、なるべく入らない。

④競技終了後について

- ・中継後は外側に抜けて、競技場内の手洗い場で、手洗い洗顔をすぐに行わせる。
- ・荷物置き場に移動後、荷物をもって、自分の陣地に速やかに戻る。荷物置き場に留まらせない。

⑤開会及び閉会セレモニーについて

- ・開会セレモニーは行わない。
- ・閉会セレモニーは、賞状メダルの授与と、写真撮影のみとする。

⑥記録掲示について

- ・記録は、アナウンス及び WEB での発表のみとする。記録掲示は行わない。

【沿道、応援への対応】

- ・沿道での応援については、マスクをせずに大声を出すことがないように、監察員等で注意喚起する。

【撮影について】

- ・園路での写真撮影を可とするが、SNS 等にあげることのないように各校から伝える。

2. 参加者の遵守事項

【選手及び顧問・引率者】

(1) 健康観察及び受付

- ・選手は大会当日の検温を含む JAAF 健康管理チェックシート兼大会出場承諾書(大会 1 週間前の検温と体調チェック、保護者の承諾と押印)を顧問に提出する。

顧問は、学校受付時にチーム(選手全員)の健康管理チェックシート兼大会参加承諾書と引率者チェック表(一覧表)を提出する。

未提出者については参加することはできない。

※提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。(家庭でとってから提出)

- ・以下の選手は大会に参加できない。なお、そのチームの参加については、大会事務局と相談の上、判断すること。

① 発熱があった場合

大会 1 週間前の健康チェックシートで 37.5℃以上の熱が 3 日以上続いた場合、必ず病院を受診し診断を受ける。コロナの感染がなく早い内に熱が下がった場合、保護者の判断で参加するかどうかを決定する。但し、大会 3 日前からの発熱(37.5℃以上)の場合は大会への参加はできない。大会当日の発熱(37.5℃以上)も参加できない。

②大会当日風邪の症状があった場合

③同居の家族や身近な知人に感染の疑いがある方がいる場合。

※濃厚接触者は、5 日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない選手の出場はしても構わない。

(2) 大会開催中の注意

●飛沫防止・消毒・咳エチケット等

- ・選手は競技中以外マスクを着用する。
- ・ウォーミングアップ時にマスクを外す場合には、人との距離を 2 m 以上離し、発声はしない。
- ・中継所及びスタート付近は、出場する選手以外立ち入らないこと。
- ・その他の場所で応援をする場合には、マスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保つこと。
- ・学校ごとアルコール消毒を持参し、適宜消毒を行う。こまめな手洗い、洗顔をする。

●飲食・ゴミの処理

- ・ゴミは各自で持ち帰る。

【大会競技役員について】

(1) 基本事項

- ・65 歳以上の役員委嘱は、原則行わない。
- ・競技役員に、医師又は看護師を委嘱する。

(2) 大会開催中の注意

●健康観察及び受付

- ・受付場所を正面玄関に設置。
- ・当日の体温及び健康状態を申告する。
⇒名簿に記入する。 ⇒必要に応じて、非接触体温計で検温を行う。
- ・選手と同様、健康状態が悪い、感染疑いのある人との接触がある場合は、役員をしない。

●飛沫防止・消毒・咳エチケット等

- ・原則マスクを着用する。
- ・医務については、フェイスシールド、使い捨て手袋、を使用する。
- ・アルコール消毒を、役員入り口、中継所、最終 W- up 場、荷物置き場に設置するので、適宜消毒を行う。

以上のように感染の可能性を極力抑えるために入念な対策で大会運営に臨みますが、それでも100%の感染防止をすとお約束することは難しいと思われます。万が一、新型コロナウイルスに感染してしまったとしても、主催者としては責任を負うことはできない点をご了承ください。

